

総 評

英語がやや難しめで、理科がやや易しめでしたが、全体としては標準的な難易度の出題となりました。

道コンのような試験は、受験して結果を見ただけでは半分の価値しかありません。自分のミスの傾向や弱点に気づき、間違えた問題の解き直しをして、克服してこそ受けた価値があるのです。また、正解した問題であっても、解説を読んで自分のやり方とはちがう解き方や考え方に気付くこともあります。新たな考え方を身につければ、得意分野をさらに伸ばすこともできます。

入試では、不注意によるミスをどれだけ減らし、得意分野でどれだけ得点を積み上げられるかが重要なポイントになります。今回の問題を存分に活用して、得点力アップに役立ててください。

国 語

標準的な出題でした。

㊦は、問五(3)の得点率がとても低くなりました。「忍耐できなかった」ことや「忍耐した」ことについての解答が目立ったため、「前途を失ひ」と「褒美にあへる」の意味をとらえられていない生徒が多かったと思われます。現代とは異なる言い回しが古典には多いですが、熟語や動詞の意味から、言葉の意味をとらえられるよう、古典の文章に慣れておくといよいでしょう。㊦と㊧は、比較的よくできていました。㊨は、問二の得点率がやや低くなりました。話し合いの流れをしっかりととらえられていましたが、指定語句や指定形式が使われていなかったり、空欄の前後とのつながりが悪かったする解答が目立ちました。問題文の条件や空欄の前後の表現には注意を払い、細かなミスによる減点を防ぎましょう。

数 学

①から得点率が予想を下回る問いもありましたが、全体としては標準的な難易度の出題でした。

①では問1(2)や問5で得点率が予想外に低くなりました。思い込みによるミスに注意しましょう。②は図形の規則性を式で表す問題ですが、読解量が多く苦勞したようです。③の問3は「見通し」と「説明」をよく読んで、証明する内容と方法を見極めましょう。④問1の作図では、 $\angle B$ の二等分線を作図した人が多いです。必要な条件を正しく読み取りましょう。証明は、要件不足で減点となった答案が多いようです。⑤の問3は、樹形図が正しくかけていない答案が目立ちました。

入試は、問題の文章量も解答の記述量も多く、読解力と表現力が必要な出題にシフトしています。模擬試験などを利用して、問題内容を把握する力をつけましょう。

社 会

標準的な難易度の出題でした。

地理分野では、③問5、④問6の得点率が高くなりました。また、③問4(2)の記述問題は得点率が低くなりました。割合の変化を聞いているのに書いていないものや、白豪主義を南アフリカ共和国のアパルトヘイトと間違えている解答が目立ちました。記述問題では、解答を作成したあとに、問題に沿った解答になっているかどうか確認するようにしましょう。

歴史分野では、①問2(3)、問4(2)、②問6の得点率が低く、それぞれ法律の名称や戦いの名称を正しく覚えていない解答が多くみられました。歴史では複数の法律や戦いを学習するので、法律の名称・内容と出された時期、戦いの名称・内容と起こった時期を合わせて覚えておきましょう。

理 科

やや易しい出題でした。

①は基本的な内容の出題です。間違えた問題や、迷った問題はしっかりと復習して、基礎固めをしておきましょう。②は、観察の文章や表を正確に読み取ることができたかがポイントでした。問4(2)は、葉について問われているにも関わらず、根など他の部分について書いている答案が目立ちました。問われている内容に適切に解答するようにところがけましょう。③は、問3が難しかったようですが、難問がなかったこともあり全体によくできていました。④は、全体にやや難しかったようです。問3は実験2の内容を理解できていたかがポイントでした。⑤は、寒冷前線の通過について基礎的な内容が多くありましたが、間違えた人が多かったようです。教科書などでよく復習してください。

英 語

やや難しい出題でした。

①は比較的よくできていました。問4は今年の入試と同様の出題形式で、英文を正確に聞き取り、空欄に当てはまる内容を適切に表現する力が求められました。(1)のAugustは確実に得点したい問題です。(2)・(3)では、聞き取った内容をもとに英文で表現する力が求められました。②は基本的な文法項目からの出題で、確実に得点しておきたい分野です。③は設問によって得点率が低く、㉠の会話文の問題では、特に空欄補充の得点率が低くなりました。④の英作文で減点となった人は、動詞の形・冠詞・三単現・複数形などに誤りがないかを確認しましょう。英作文では内容にこだわることも大切ですが、スペルや文法に注意し、正確な英文を書くことも同じくらい大切です。